

令和7年度第2回大阪市地方独立行政法人大阪市博物館機構評価委員会 議事要旨

1 日 時：令和7年8月8日（金）14：00～15：55

2 場 所：大阪歴史博物館 4階 第1研修室

3 出席者：

【委員】栗原委員、島委員、高瀬委員、谷村委員、村田委員

【大阪市】経済戦略局 岩田文化部長、平野博物館支援担当課長、尾崎博物館支援担当課長代理 他

4 議 題：

(1) (地独) 大阪市博物館機構の令和6事業年度の業務実績に関する評価結果（案）について

5 議事要旨：

(1) (地独) 大阪市博物館機構の令和6事業年度の業務実績に関する評価結果（案）について

大阪市から説明を行った後、令和6事業年度の業務実績に関する評価結果（案）について質疑・審議が行われ、評価委員から意見の申述をいただいた。

[主な意見]

- ・ 資料等に関する調査研究の項目が複数あるが、それぞれの実績についてはそもそもの方針や全体の方向性がより見えるかたちで記載する必要がある。
- ・ 万博を契機とした取り組みは継続してもらいたい。
- ・ 「大阪の宝」120点をデジタル大阪ミュージアムズに掲載したことは、例えば普段、美術館にしか行かない人にも、博物館に行く動機づけとして有効なツールになったのではないか。
- ・ 大阪の宝における来歴の紹介は、地域振興やシビックプライドの醸成に繋がるもので、とても良い。
- ・ 各館の館蔵品から20点を選定し合計120点を公開した「大阪の宝」は、博物館機構の一体運営という点からも良い取り組みである。
- ・ 大阪・関西万博の開催を翌年に控えた年なので、国際的な連携・発信については計画を超えた取り組みをしてもらいたかったところである。
- ・ 様々な観点から来館者の分析を行っているが、可能であれば来館しなかった人へのアンケートなども実施し、来館につながるような分析をしてはどうか。
- ・ 開館時間の延長や夜間開館について、取り組みに対する効果や取り組み結果の実績も含めて示すことが必要ではないか。
- ・ 夜間開館は単独で行うのではなく近隣のイベントに合わせるなど周辺施設と連携した

取り組みも必要ではないか。

- ・ 国際的な財団と連携したアプリの導入について、国際的なプラットフォームに参加できたことは高く評価できる。
- ・ ファミリーデーなどは普段美術館に行けないと思っている方に来てもらえる良い取り組みであり、国立館でもこの2年実績を重ねて参加者が増えたので、もっと広く広報すると良いのではないか。
- ・ 第2期中期目標からガバナンスの評価項目が入ったことはとても良い。
- ・ 事務局がよりイニシアチブを取り、6館一体のメリットが生きるよう、ガバナンスを効かせて取り組んでもらいたい。
- ・ 各館の横断的な取り組み（特に人材の交流や対話）については、さらに進めてもらいたい。
- ・ 地方独立法人化はいくつかの自治体でも検討しているようだが、博物館機構には美術館・博物館を運営する日本で唯一の地方独立法人としてそのメリットをもっと生かせるように取り組んでもらいたい。
- ・ 来館者の安全確保について、令和6年度はBCP計画策定にかかる調査を行い計画通りに取り組みを進めたところだが、BCPは非常に重要なのでなるべく早く作成する方が良い。

6 会議資料

資料1 令和6事業年度の業務実績に関する中・小項目評価（案）

資料2 達成度評価シート（令和6事業年度 実績評価）（案）

参考 補足資料